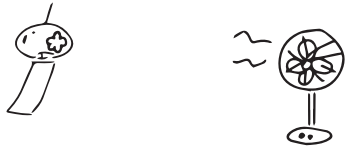


Youth Manna

2021/7/19 - 7/25



さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。マルコ 1:35

2021/7/19(月)

使徒 13:26-41

ピシディアのアンティオキアでのパウロのメッセージの続きだね。パウロが何を語っているのか、注意深く読んでみよう！

イエスの死と復活がどのようにして起こって、聖書の預言が成就したのが26-37節の中で語られているね。そして38,39節に、パウロがこれこそ知ってほしいこととして語ったことが記されている。すなわち、神が約束されていた福音は、イエスを通して罪の赦しを与えられ、義と認められるということだ。

みんなは38,39節のみことばに対してどれほど確信を持っているかな？まずはこの救いの約束が自分にどうしても必要なことと認めて神様に祈ろう！そして、いつでも変わることもない聖書のことばを忘れないように、心に刻んで今日も歩もう！

2021/7/20(火)

使徒 13:42-52

パウロとバルナバは福音を大胆に語り、聞いた人達にイエス様の恵にとどまるように教えました。福音はどんどん広がり町中の人々が主のことばを聞くために集まるほどになりました。(44)しかしユダヤ人達はねたみから口汚くのしり、迫害しました。(45.50)ユダヤ人は律法を守ること、自分の頑張りで人を集めることなどに価値をおいていたので、恵によって救われることの意味が分かりませんでした。反対に異邦人は救いが自分達にも与えられた恵を喜び賛美しました。(48)

私達は自分の頑張りではなくて、ただイエス様の十字架を信じることで罪赦されて救われました！その恵に感謝しよう！！

2021/7/21(水)

使徒 14:1-18

主イエスが宣教されたとき、「わたしが信じられなくても、わたしのわざを信じなさい」(ヨハネ 10:38)と言われた。神は頑なで信じようとしぬ人々にも恵み深く忍耐を持って機会を与えられる。パウロとバルナバは反対がある中、そこに長く滞在し、宣教を続けた。その結果、さらに救われる人も起こされた。

また、足の不自由な人の癒しを見たリステラの人々は、パウロとバルナバをギリシャ神話の神々と勘違いし、いけにえを捧げようとした。パウロとバルナバは天地創造の神にこそ立ち返るべきだと命懸けで訴え、かろうじてやめさせた。

祈り：パウロとバルナバが恵み深く忍耐を持って宣教し続けたように、与えられた場所で神様の助けを得て宣教していくことができますように。

2021/7/22(木)

使徒 14:19-28

かつてパウロは迫害する側だったが、立ち返ったパウロは同じように迫害に遭い、石打ちにされ、死んだと思われたが生きていた。そして再び宣教の道を歩み、宣教の中でパウロは弟子たちの心を強め、信仰にしっかりとどまるように勧めて、「私たちは、神の国に入るために、多くの苦しみを経なければならぬ」と語った。(22v)

私たちは、信仰を強め、とどまり続けるためにも、教えられ、また励まし合う必要がある。そして信じ歩む過程でさまざまな困難に会う。信じたら、救われたら、楽！になるわけではない。

セルなどで聞いたお互いの祈りの課題を忘れずに祈れていますか？信仰の友に感謝し、祈り続けよう！

米騒動の日

2021/7/23(金)

使徒 15:1-11

▶コルネリウスとその家族が救われ(10章)、多くの異邦人が救われた(13,14章)ことを思い出そう。律法を持たない異邦人の救いは律法を持つユダヤ人にとって衝撃的だった。

▶エルサレム会議と呼ばれる15章では『人は何によって救われるのか』を聖霊の働きの中で、真剣に議論した。救いと律法は切っても切れない関係なのだろうか…。

▶旧約聖書を開くとき、律法に従い切れないイスラエル人の姿が出てくる。そんな彼らが赦されたのは、ただ神の恵みだった。いつの時代でも人は、行いでなく恵みによって罪を赦され、信仰によって義とされていた。

▶私たちも神の恵みによって、罪赦されて救われた一人だ。だからこそ、私たちがまた他の人たちを赦す者でありたい。誰かに対して苦々しい思いがあるなら、主に委ねよう。

2021/7/24(土)

使徒 15:12-21

異邦人は割礼をするか、しないかについて、パウロとバルナバが報告するのを聞いた後、ヤコブがそれに応じて話し始めたね。(ちなみにこのヤコブは12弟子の雷の子と呼ばれた方ではなく、イエス様の弟のヤコブだよ)今まで、異邦人も割礼を受けなければ救われない、と思われてきたことが大きく変わることはなかった。でもヤコブはみことばを根拠に考えて、割礼を受けるか受けないかで救われた異邦人を悩ませないように結論を出したんだ。

もちろん何でもOKにするのではなく、神様に従っていくために4つのことをしないように(探してみよう!)ということ全体で共通して守るようになると必要な決まりも伝えたい。私たちも神様に従うことを選んで、みことばに立って、自分のやり方や生活を柔軟に変えていけるといいね！そのために祈ろう！

2021/7/25(日)

使徒 15:22-29

激しい対立と議論の結果、異邦人にも旧約律法を適用させるかどうかの問題は結論に達しました。この問題は長時間議論を重ね、弟子たちが話し合ったから結論を出すことができたのでしょうか。それとも、ユダヤ人の信者が渋々折れて、認めることにしたのでしょうか。

もちろん決定へのプロセスの中にはそういった葛藤や時間も含まれていたかもしれませんが、しかし、28節には「聖霊と私たちは～決めました」と書かれています。最終的な答えは、聖霊に導かれて決めたということだったんだね。

私たちも、毎日の生活の中で、決断をしなければならない時は多くあると思います。その時に、自分は「聖霊と私は決めました」と言うことができるでしょうか。まず今日、聖霊を通して私に語られていることは何だろうか。静まって祈り、今聖霊が私に語っていることは何か聞いてみよう！